

～富士見生の今を伝える～

コミュニティ通信 Neo

Fujimi
第22号

静岡県富士見高等学校
コミュニティ研究会



▲3名の教育実習生（左から廣野洵先生、佐野慎之助先生、金刺陽菜先生）

教育実習

「生徒に愛される教師に」

3名が母校の教壇に立つ

10月8日から25日までの3週間、3名の教育実習の先生方が母校である富士見高校の教壇に立っています。それぞれの先生方にインタビューしてみました。

廣野洵先生は徳島大学理工学部理工学科数理科学コース在学中で、教科は数学、バドミントン部。趣味はドラマ、映画鑑賞で、最近では『地面師たち』にハマっているそうです。富士見時代の思い出は、勉強合宿に友だちがかき水機を持ってきて作って食べたこと、顧問の先生に怒られ

2学期から食堂の運営が学校となり、早くも1ヶ月が経ちました。食堂業務に従事する久保田さん、星さん、小林さんによると、カレー、唐揚げ、定食、かき揚げは学校で調理し、トッピングも増えたそうです。

新食堂 肉うどんが一番人気

と感想を述べてくれました。

「紙面担当」

秋山、石井、仲澤（1年）

ながらも部活をやり切ったことなど。青春は一瞬で終わるので、今を全力で楽しむことが大切と語る廣野先生は、「生徒に愛される教師」を目指すそうです。

理系科目は赤点ギリギリ

佐野慎之助先生は都留文科大学教養学部地域社会学科社会科教育専攻に在学中で、教科は地歴公民、コミュニティ研究会。趣味は歴史探訪や書店、図書館巡り。富士見時代は理系科目が苦手な赤点ギリギリだったとか。高校の教員を目指し、「社会科」を通して生徒とかかわっていい教師になりたいそうです。

千本松原の防災機能を研究

金刺陽菜先生は京都芸術大学芸術学部歴史遺産学科に在学中で、教科は地歴公民、将棋部。現在は沼津市千本松原の防災機能維持の仕組みについて研究中。趣味は時代物の漫画やアニメ、映画を見ること。富士見時代は英語の週テストが大変だったそうです。

「社会が苦手な人でも面白く感じられる授業ができ、生徒に寄り添える教師」になりたいそうです。